

教科名	数 学 科		週時間数	4 時間	学年	3 年
使用教科書 及び 副教材等		教科書「未来へひろがる 数学3」(啓林館) 副教材 数学の問題ノート(新学社) 数学ノート(明治図書)				
学習のねらい		・数量、空間に関する基礎的な知識、技能を身につける。 ・筋道を立てて考え、ものごとを合理的に処理する能力を伸ばす。 ・自主的、積極的に考え、新しいものごとを理解し創造しようとする能力と態度を養う。				
目指す姿		支え合う	○課題に対して数学的な見方・考え方を働かせて、自分の考えを持ったり、他者にわかるように伝えたりしようとする姿。 ○グループ活動を通して、自分の考えを他者に伝えるとともに、他者の考えを受け入れ、相違点や共通点について考えようとする姿。			
		高め合う				
学習の進め方		【学習への取り組む姿勢】 ○授業では教科書を中心に、基礎学力をつけることを目標に進めましょう。 ○基本問題を終えた後、おもに問題集を使い応用問題にも取り組みましょう。 ○授業中の発表、発言、生徒同士の教えあいを大切に、意欲的に授業に取り組ましましょう。 【家庭学習】 ○授業の予習・復習を必ずしましょう。 ○授業で分からないところがあれば、その日のうちにわかるようにしましょう。 【端末の活用】 ○ドリルパークを使って、個々の理解度に合わせて問題に取り組ましましょう。 ○理解しづらい内容は、教科書のQRコードを利用しましょう。				
定期テスト		出題方針	教科書の内容に準じて、基本的な数学力を問う問題を出題します。また、応用問題の出題により、数学的な思考・判断・表現の習熟度を計ります。			
		範 囲 (予定)	1学期中間	・式の展開 ・因数分解		
			1学期期末	・平方根 ・二次方程式		
			2学期中間	・二次方程式 ・関数 $y = ax^2$		
			2学期期末	・関数 $y = ax^2$ ・図形と相似 ・円		
			学 年 末	・円 ・三平方の定理 ・標本調査 ・三年生の復習		
評価方法	観点	評価の方法		評価について		
	知識・技能	・小テスト、定期テスト等 ・授業への取組		・基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けられたか。		
	思考・判断・表現	・小テスト、定期テスト等 ・授業への取組		・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする。図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や関係を直感的に捉え論理的に考察し表現する。数量の変化や対応に着目して関数関係を見出し、その特徴を表、式、グラフなどで考察する。データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりできる。		
	主体的に学習に取り組む態度	・小テスト、定期テスト ・ワーク、ノート、プリントの提出と 取組内容 ・授業への取組		・ワーク、ノートの提出物、プリントの達成状況や取り組み内容、授業態度や意欲的な姿勢等を総合的に判断する。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたか。		

年間授業計画書

学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
1	4月	1. 式の展開と因数分解	・多項式の乗法と除法	9	・単項式・多項式の乗法・除法の計算ができる。 ・乗法の公式を利用して展開ができる。
	5月		・因数分解 ・式の活用 章末問題	6 4 1	・因数分解の意味を理解し、共通因数を取り出したり、公式を利用したりして多項式を因数分解することができる ・問題解決に式の展開や因数分解を利用することができる
	6月	2. 平方根	・平方根 ・平方根の計算 ・平方根の活用 章末問題	6 8 1 1	・平方根の存在を知り数の概念を広める。 ・平方根の意味を理解し、近似値を求めることができる ・有理数と無理数の意味を理解する。 ・根号を含む式の乗法・除法の計算ができる。 ・根号を含む式の計算や変形ができる。 ・問題解決に平方根を利用することができる。
	7月	3. 二次方程式	・二次方程式とその解き方 ・二次方程式の活用 章末問題	4 4 3 1	・二次方程式の必要性和その解の意味を理解する。 ・因数分解を用いて二次方程式を解くことができる。 ・解の公式を用いて二次方程式を解くことができる。 ・問題解決に二次方程式を利用することができる。
2	9月	4. 関数 $y=ax^2$	・関数 $y=ax^2$ ・関数 $y=ax^2$ の活用 ・いろいろな関数 章末問題	10 3 1 1	・一次関数で表せない事象について新しい関数としてとらえることができる。 ・グラフの特徴を理解し、かくことができる。 ・グラフから関数 $y=ax^2$ のyの増減を調べ、xの変域からyの変域を求めることができる。 ・関数 $y=ax^2$ のとり値の変化の割合について調べ、一次関数との違いを理解する。 ・身のまわりの事象の中から関数 $y=ax^2$ の関係をを見つけ、それを利用して問題を解決することができる。 ・身の回りの事象の中から、関数関係を見つけようとしたり、調べようとしたりする。
	10月				
	11月	5. 図形と相似	・図形と相似 ・平行線と線分の比 ・相似な図形の面積の比と体積の比 ・相似な図形の活用 章末問題	9 4 4 5 2 2	・多角形の相似の概念を明らかにする。 ・三角形の相似条件を知る。 ・相似条件を利用して図形の性質を証明することができる。 ・平行線と線分の比についての性質を見だし、これを活用できる。 ・三角形の midpoint 連結定理を理解する。 ・相似比と面積と体積の関係を理解する。 ・問題解決に相似な図形を利用することができる。
	12月	6. 円	・円周角の定理 ・円周角の定理の活用 章末問題	6 3 2	・円周角の性質を理解する。 ・円周角の定理の逆を理解する。 ・円の性質を利用し作図ができる。
	1月	7. 三平方の定理	・三平方の定理 ・三平方の定理の活用 章末問題	5 2 5 2	・三平方の定理を見だし、それが証明できることを理解する。 ・三平方の定理を用いて、正三角形の高さ、弦の長さ、2点間の距離などを求めることができる。 ・三平方の定理を用いて、直方体の対角線の長さ、正四角錐の高さや体積などを求めることができる。
	2月	8. 標本調査とデータの活用	・標本調査 ・標本調査の活用 章末問題	5 1 1	・標本調査の意味と方法を理解する。 ・標本抽出の方法を理解する。 ・標本調査を活用して、身の回りのことがらを調べることができる。
	3月	3年間の復習		15 4	